学校番号	T0308

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「高校倫理」　（実教）						
副教材等	パワーポイントによる資料提示						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自己とは人間とはという根源的な問いを持つ力を養ってほしい。
・倫理的諸課題について主体的に考察し公正に判断する力を持ってほしい。
・現代を生きる人間としての在り方を主体的に考察する力を養ってほしい。

2　学習の到達目標

・青年期の課題と人間の在り方生き方について諸思想の学習を通して理解と思索を深める。
・主体としての自己の確立をめざし、人格形成に努める意欲を高める。
・現代社会の倫理的課題について主体的思考と公正な判断能力をつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づき、青年期における自己形成と他者とともに生きる主体としての自己確立に努める意欲を育てるとともに、人間としての在り方や生き方について自覚を深めようとする。	他者とともに生きる主体としての自己について課題を見いだし、人間の存在や価値について多面的・多角的角度から、主体的に判断しその過程や方法を適切に表現している。	青年期の自己形成や人間としての在り方・生き方に関する諸資料を適切に収集し、それらを他者とともに生きる自己の確立のために活用している。	青年期の自己形成や人間としての在り方・生き方に関する諸資料を自己形成の課題として理解し、人間形成に生かす知識として身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期の課題と人間の自覚	・青年期の課題と自己形成 ・青年期の意義 ・青年期の課題	○ ○	 ○ 	○ ○ ○	○ ○	a:「人間とは何か」という根源的な問いから「第二の誕生」「マージナルマン」等を学習する。 b:青年期特有の不安を客観的に理解する c:青年期の課題をアイデンティティーの確立としてとらえる。 d:生涯にわたる自己確立の視点から青年期を捉え直す。	定期考査 ワークシート
	ギリシア思想	・自然主義とソフィスト ・ソクラテス ・プラトン ・アリストテレス ・ヘレニズム時代の思想	○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○	a:古代ギリシアの自然哲学の誕生を通して、理性的人間観と合理的世界観の成立を理解する。 b:知的探求と善く生きる事が一体であるソクラテスの哲学的精神の意義を理解する。 c:理想主義であるイデア論の特徴を理解し、理性の役割や「哲人政治」の意義について考察する。 d:アリストテレスの自然観・道徳論・国家論の現実主義的特徴を理解する。	定期考査 ワークシート
	世界三大宗教と古代中国の思想	・イエス ・キリスト教の誕生と展開 ・イスラーム ・仏教以前のインド思想 ・ブッダの教え ・大乗仏教の成立 ・孔子 ・儒家思想の展開 ・老荘思想	○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:キリスト教の形成を学習し、厳格な道徳意識に立つ一神教の特徴を理解する。 b:キリスト教とイスラームの思想的関係を理解し、イスラーム共同体の意義を考える。 c:ブッダの縁起説や無我の法について学習し、仏教の世界観や人間観の特徴を考える。 d:孔子の説く人倫の道の特徴を理解し、家族主義道徳について考える。	定期考査 ワークシート

2学期	日本人としての自覚	・日本の風土と人々の生活 ・神との関わりと人々の生活 ・仏教の受容 ・仏教の日本的展開 ・仏教と日本文化 ・儒学の受容と朱子学 ・日本陽明学 ・日本的儒学の形成 ・国学の経営 ・民衆の思想 ・幕末の思想	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:日本の風土とその中で育まれた日本人の自然観の特徴、日本文化の基層を理解する。 b:外来宗教である仏教の移入と展開について学習し、神仏習合した宗教の在り方を考える。 c:外来宗教である儒学の受容と展開について学習し、伝統文化をなす儒学道徳の特徴について理解する。 d:洋学の発展と西洋に対する「和魂洋才」の態度について理解する。	定期考査 ワークシート
	西洋思想の受容と展開	・啓蒙思想と自由民権運動 ・キリスト教の受容 ・近代的自我の確立 ・伝統の自覚と新たな課題	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:福沢諭吉や中江兆民の思想とその軌跡を学習し、日本近代化の課題を考察する。 b:内村鑑三の思想形成を通して、日本近代化の課題について考える。 c:独創的な西田哲学や和辻倫理学の形成と、近代化の挫折としてのファシズムについて考える。 d:柳田国男らの自文化理解の在り方を学習し、環境問題を倫理的視点から考察する。	定期考査 ワークシート
	現代に生きる人間の倫理	・ルネサンス ・宗教改革 ・モラリスト ・近代の自然観 ・経験論と合理論	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ 	○ ○	a:ルネサンス人文主義が、近代の人間中心主義・ヒューマニズムへと展開したことを理解する b:宗教改革が個人の自由を原理とする西欧近代社会形成の重要な契機となったことを理解する。 c:モラリストの思想と理性主義へのパスカルの批判を考える d:近代科学の発展に大きな影響を与えたベーコンとデカルトの思想の特徴を理解する。	定期考査 ワークシート

3学期	民主社会と自由の実現	・カント ・ヘーゲル ・功利主義 ・社会の進歩と改善 ・社会主義 ・主体性の自覚 ・理性の深層への反省 ・言葉への反省	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:民主社会を形成する基本原理を、自然法思想や社会契約論の展開から理解する b:功利主義と民主主義の関係、実証主義やプラグマティズムの思想の特徴を理解する。 c:キルケゴールの単独者やニーチェの超人の思想を学習し、主体的自己について考える。 d:理性中心主義を批判するフロイトなどの人間観を学習し、近代合理主義の課題を考える。	定期考査 ワークシート
	社会参加と幸福	・生命への畏敬と非暴力の思想 ・正義と福祉 ・社会の中の人間 ・現代の諸課題と倫理	○ ○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:シュバイツァーの生命への畏敬、ガンディーの非暴力主義の現代的意義を理解する。 b:ロールズの正義論、センの潜在能力の立場から社会的平等や福祉のありかたについて考える。 c:生命倫理や環境倫理に関わる課題追究学習にとりくみ調査や意見表明の技術を身につける。 d:地域社会、情報化社会の現状について調査し、直面する諸課題を考察する。	主題学習 レポート 振り返りシート
	主題学習	・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○ 	 ○	 ○ 	 ○ 	a:人間としての生き方を他者や社会と関連づけを意欲的に追求しようとしている。 b:自己の課題や人間の価値について、様々な思想家たちを通して考察し表現している。 c:青年期の自己形成や生き方について自己の確立という視点から必要な情報を収集している。 d:人間存在の価値・在り方について基本的な知識を身につけている。	主題学習 振り返りシート レポート 報告会での発表内容 ポスター

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。